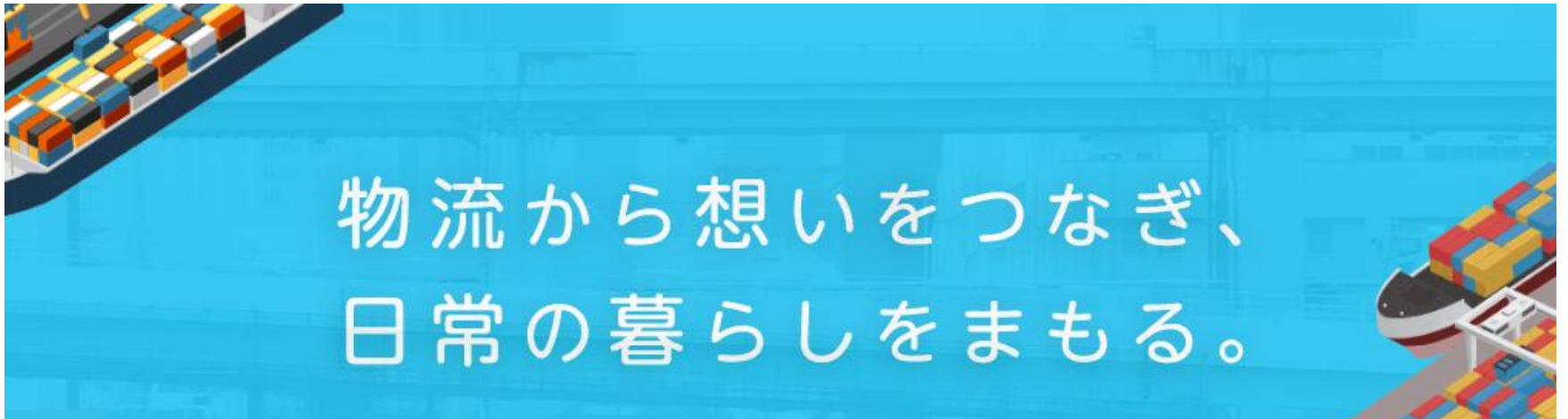


(証券コード:9322 東証一部)



# 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料



物流から想いをつなぎ、  
日常の暮らしをまもる。

2021年11月8日

川西倉庫株式会社

1

2022年3月期第2四半期 連結決算の概要

2

2022年3月期 業績予想の概要

# 2022年3月期第2四半期 連結決算の概要

---



## 2022年3月期第2四半期決算実績

前年同期比で増収、営業利益は増益。前年同期は特別利益に受取補償金等を計上した影響で親会社株主に帰属する四半期純利益は減益

☆ 神戸港での港湾運送業務の回復

☆ 国際物流事業の増加

☆ 前期計上特別利益(受取補償金)の減少



# 2022年3月期第2四半期決算の概要①

(単位:百万円、%)

科 目	2021/3期 2Q実績	2022/3期 2Q実績	前年同期比		増減要因
	金額	金額	金額	増減率	
営 業 収 益	10,563	<b>11,152</b>	+ 588	+ 5.6%	国内物流事業では港湾運送業務の回復による増加要因はあるものの、倉庫業務の取扱減、前期売却した連結子会社の影響により減少。国際物流事業では輸出入貨物の増加、海上運賃マーケットの上昇、海外子会社も好調に推移し増加。
営 業 利 益	189	<b>464</b>	+ 275	+ 145.7%	港湾運送業務、国際物流事業の増加、倉庫取扱減による再保管費用の減少、荷役費用の減少等の影響。
経 常 利 益	243	<b>519</b>	+ 276	+ 113.9%	営業利益の増加による。
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	386	<b>322</b>	△ 64	△ 16.6%	前年同期は特別利益に受取補償金を計上していたことにより前年同期比減少。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当期の期首から適用しており、前年同期に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。



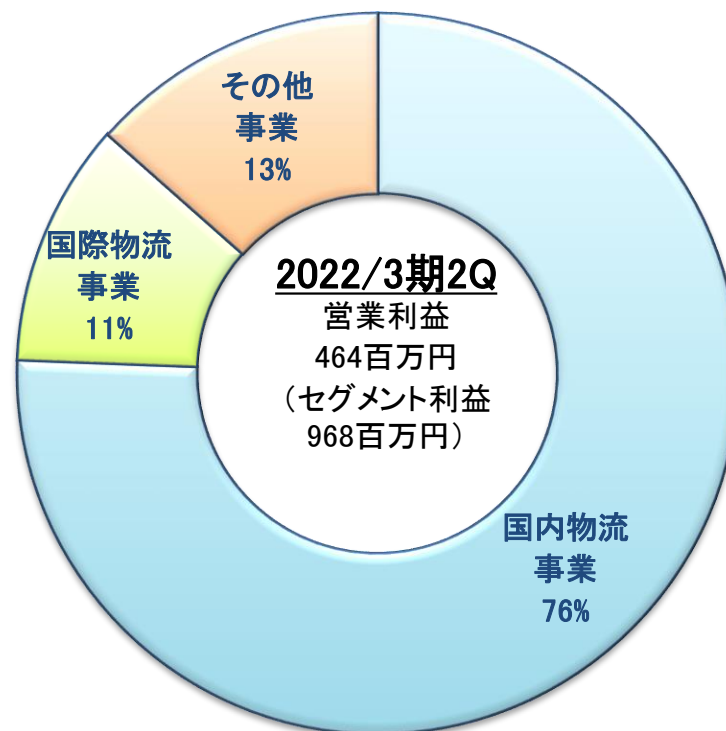
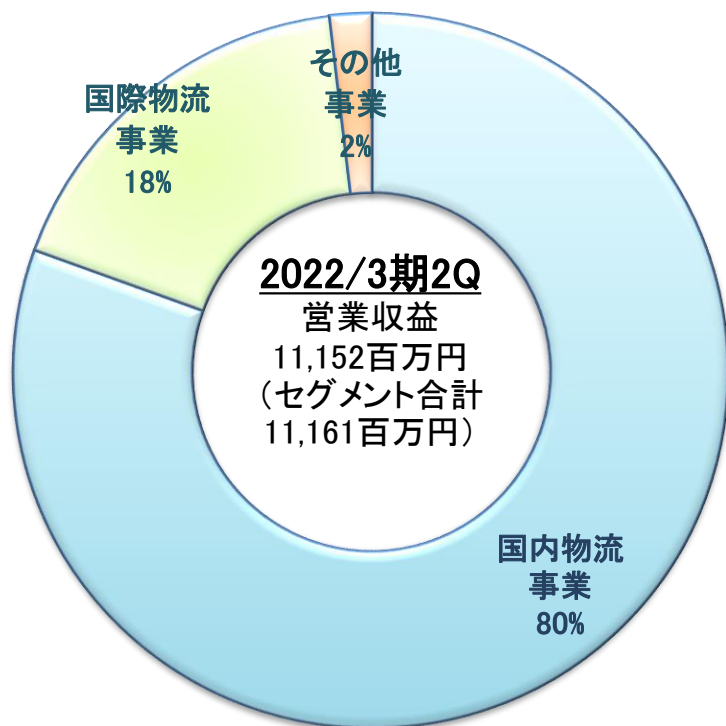
# 2022年3月期第2四半期決算の概要②

(単位:百万円、%)

科 目	2021/3期 2Q実績		2022/3期 2Q				前年 同期比	予想比
			予想 (9/14 公表)		実績			
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
営業収益	10,563	-	11,100	-	<b>11,152</b>	-	+ 5.6%	+ 0.5%
営業利益	189	1.8%	460	4.1%	<b>464</b>	4.2%	+ 145.7%	+ 1.0%
経常利益	243	2.3%	510	4.6%	<b>519</b>	4.7%	+ 113.9%	+ 1.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	386	3.7%	330	3.0%	<b>322</b>	2.9%	△ 16.6%	△ 2.4%



# セグメント別実績占率(2022/3期2Q累計)



**国内物流事業**

倉庫業、港湾運送業、貨物運送取扱業、その他物流関連<通関業務、流通加工業務、物流関連施設の賃貸業務>

**国際物流事業**

国際運送取扱事業、倉庫業(海外)

**その他事業**

太陽光発電による売電事業、不動産賃貸事業、物流資材の販売



# セグメント別実績(国内物流事業)

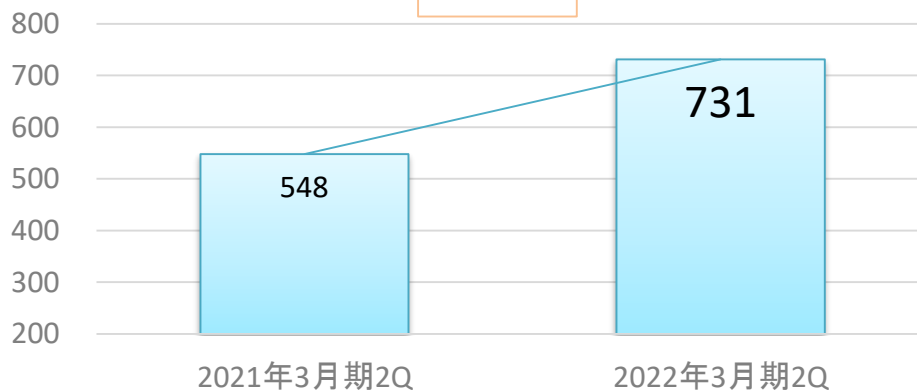
## 営業収益

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前



## 営業利益

+ 182



- ☆ 神戸港での港湾運送業務の回復
- ☆ 連結子会社の売却による収益減
- ☆ 再保管費用、荷役用具費等の減少による利益増



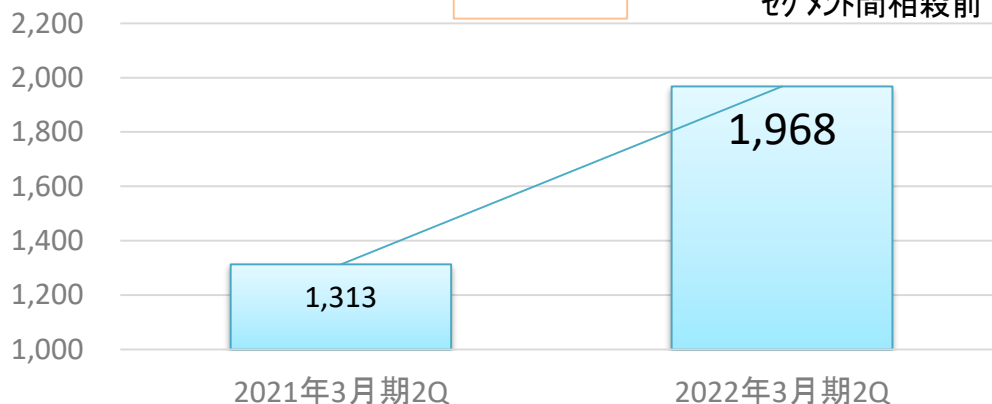


# セグメント別実績(国際物流事業)

## 営業収益

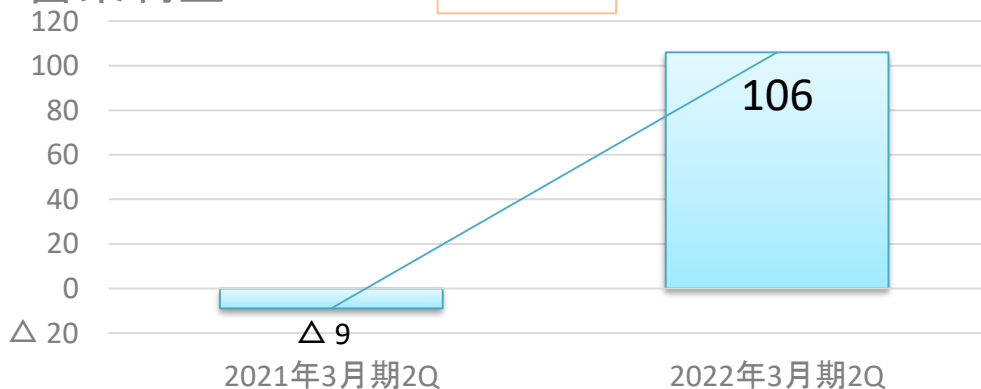
+ 654

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前



## 営業利益

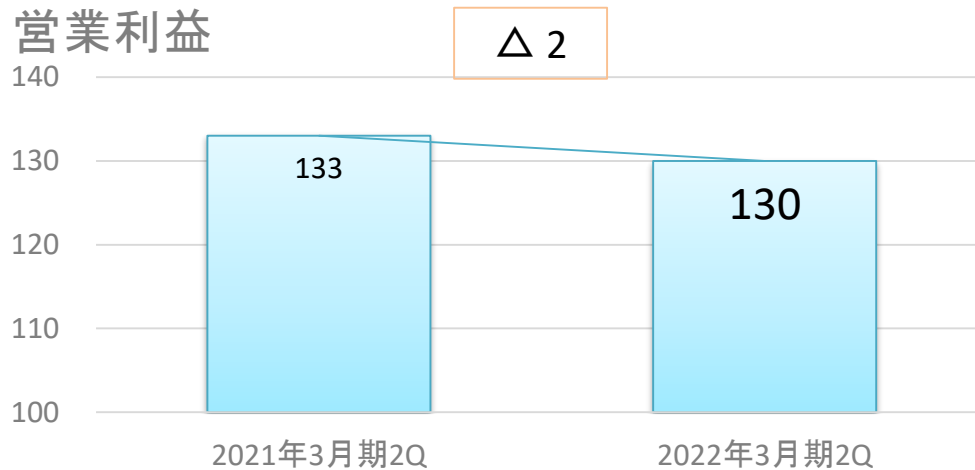
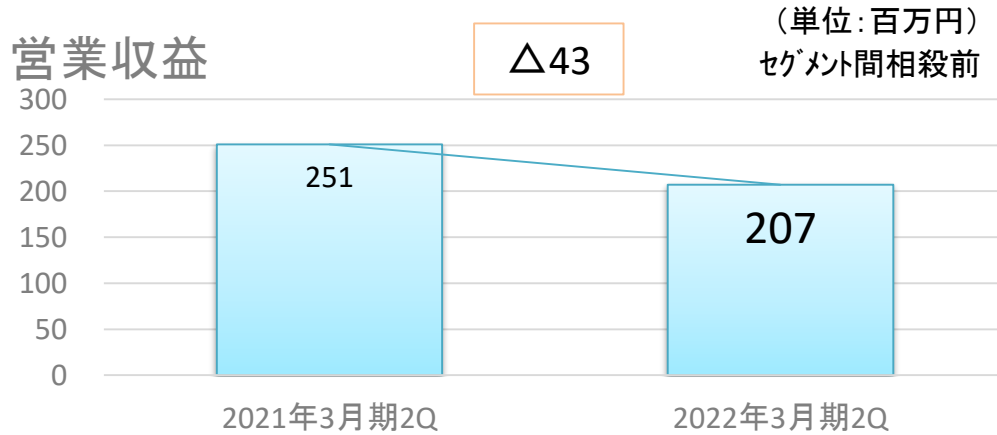
+ 116



- ☆ 輸出入貨物の増加
- ☆ 海上運賃マーケットの変動
- ☆ 海外子会社が好調に推移



# セグメント別実績(その他事業)

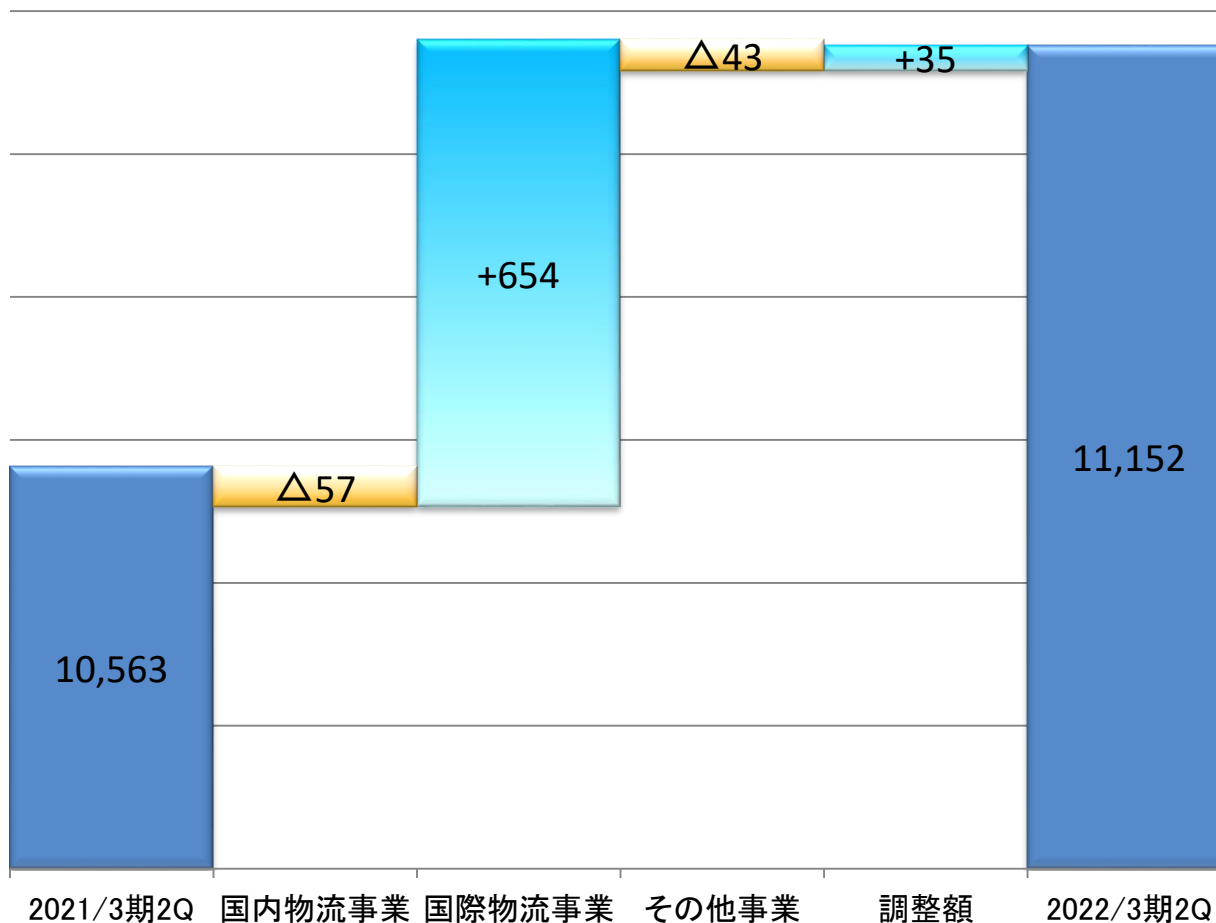


- ☆ 物流資材販売の減少
- ☆ 賃貸収入の増加



# 営業収益増減要因

(単位:百万円)



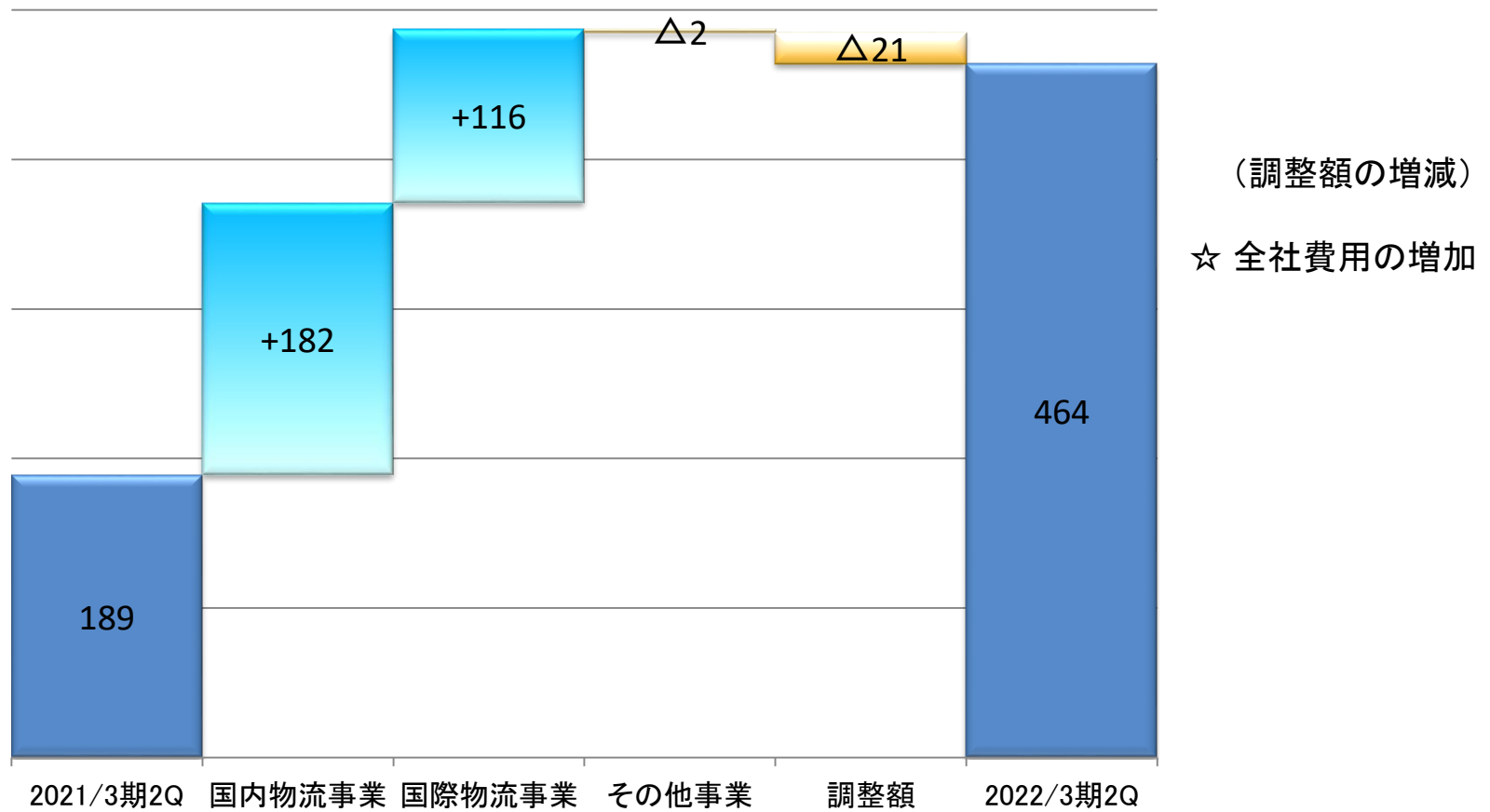
(調整額の増減)

☆ セグメント間取引の減少



# 営業利益増減要因

(単位:百万円)





# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2021年3月期 期末	2022年3月期 2Q期末	前期末比	増減要因
<b>資産の部</b>	33,623	<b>35,230</b>	+ 1,606	
うち現金及び預金	5,014	<b>5,182</b>	+ 167	【増加】短期借入金、長期借入金の新規借入れ 【減少】設備投資による支出
建設仮勘定	1,909	<b>3,364</b>	+ 1,455	新倉庫建設にかかる前払費用の増加
<b>負債の部</b>	14,371	<b>15,515</b>	+ 1,144	
短期借入金	1,033	<b>1,593</b>	+ 560	新規借入れによる増加
長期借入金	8,026	<b>8,564</b>	+ 537	新規借入れによる増加
<b>純資産の部</b>	19,252	<b>19,714</b>	+ 462	
利益剰余金	13,386	<b>13,662</b>	+ 275	当期利益の増加
<b>自己資本比率</b>	50.6%	<b>49.4%</b>		

(単位:百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比	増減要因
営業原価	9,229	9,575	+ 345	
うち下払作業費	1,423	1,530	+ 107	港湾運送業務、国際物流事業の増加
運送費	3,838	4,348	+ 509	国際物流事業の増加、海上運賃マーケットの上昇
再保管料	591	502	△ 88	倉庫保管高の減少
その他	1,191	1,059	△ 132	子会社の売却による減少、荷役用具費の減少等
販管費	1,144	1,112	△ 32	



# 連結損益計算書(営業外損益、特別損益)

(単位:百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比	増減要因
営業外収益	84	82	△ 1	
営業外費用	30	27	△ 3	
特別利益	711	9	△ 702	
うち受取補償金	705	—	△ 705	前年同期は、営業所譲渡等に 伴う補償金を計上
特別損失	385	11	△ 373	
うち固定資産除却損	62	0	△ 62	前年同期は、譲渡営業所等 にかかる除却損を計上
営業所閉鎖損失	185	—	△ 185	前年同期は、当社の一部営 業所閉鎖に伴う損失を計上
システム開発中止に 伴う損失	108	—	△ 108	前年同期は、基幹システム の開発中止に伴う損失を計 上

(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+ 865	税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保、利息及び配当金の受取りにより増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,148	新設倉庫の建設費用の支出等により減少
財務活動による キャッシュ・フロー	+ 1,010	長期借入金の返済があったものの、短期借入金及び新設倉庫建設のための長期借入金の新規借入等により増加
期中増減額	+ 771	—
期末残高	4,247	—



## 2022年3月期 業績予想の概要

---

## 2022年3月期通期業績予想

前期比で増収、営業利益は増益を見込む。前期は特別利益に受取補償金等を計上した影響で親会社株主に帰属する当期純利益は減益を見込む。

☆ 神戸港での港湾運送業務の回復

☆ 国際物流事業の増加

☆ 前期計上特別利益(受取補償金)の減少



# 2022年3月期業績予想の概要

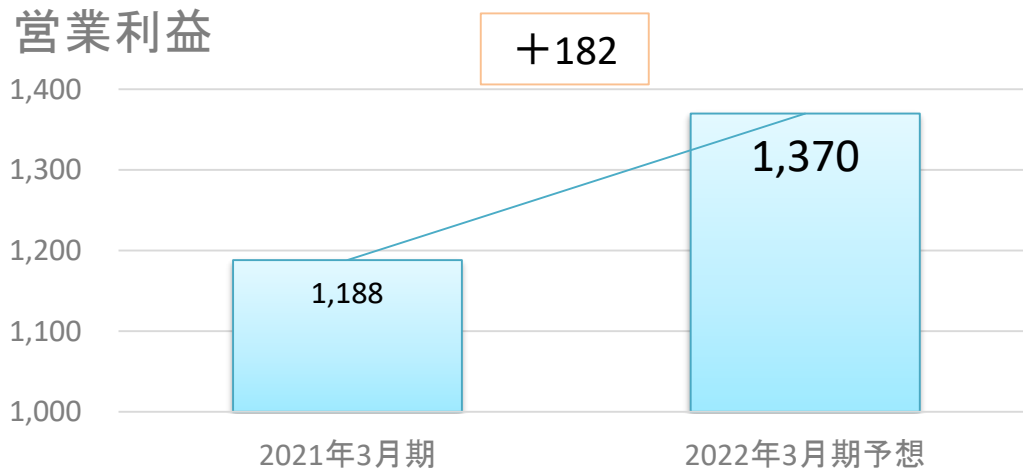
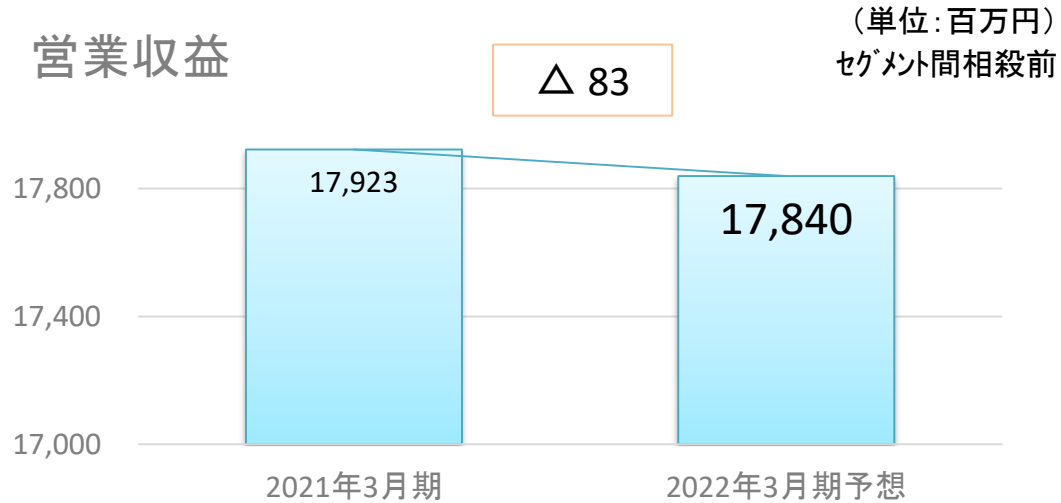
(単位:百万円)

科 目	2021/3期 実績	2022/3期 予想 (9/14公表)	増減		増減要因
営 業 収 益	21,061	<b>21,600</b>	+ 538	+ 2.6%	国内物流事業では港湾運送業務が好調に推移すると予想するも、前期売却の連結子会社の影響により減少。 国際物流事業においては輸出入貨物の取扱が好調に推移、海上運賃マーケットの影響等もあり増加。
営 業 利 益	468	<b>740</b>	+ 271	+ 58.0%	2021年11月1日稼働の新設倉庫の初期経費の計上等はあるものの、港湾運送業務、国際物流事業の増加、荷役費用の減少等の影響により増加。
経 常 利 益	572	<b>810</b>	+ 237	+ 41.6%	営業利益の増加による
親会社株主に 帰属する 当期純利益	542	<b>520</b>	△ 22	△ 4.1%	前期は特別利益に受取補償金等を計上していたことにより前期比減少。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当期の期首から適用しており、前期に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。



# セグメント別予想(国内物流事業)



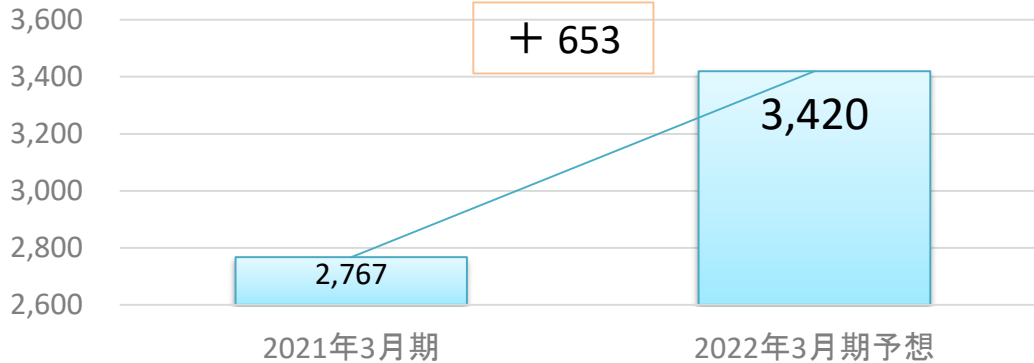
- ☆ 神戸港での港湾運送業務の回復
- ☆ 連結子会社の売却による収益減
- ☆ 荷役用具費等の減少による利益増



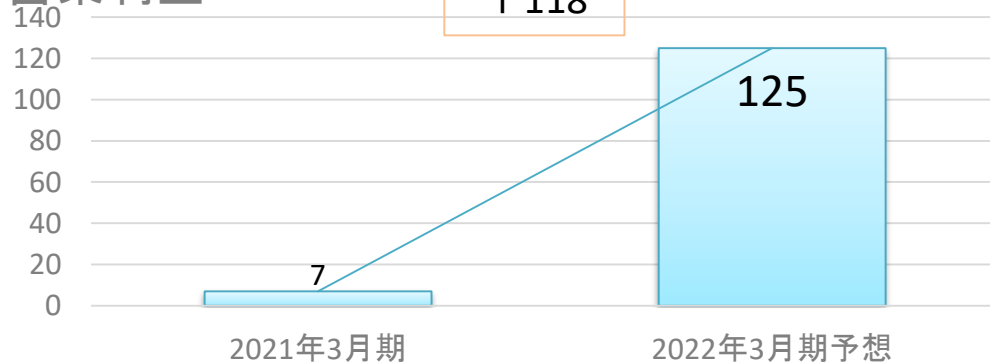
# セグメント別予想(国際物流事業)

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前

## 営業収益



## 営業利益

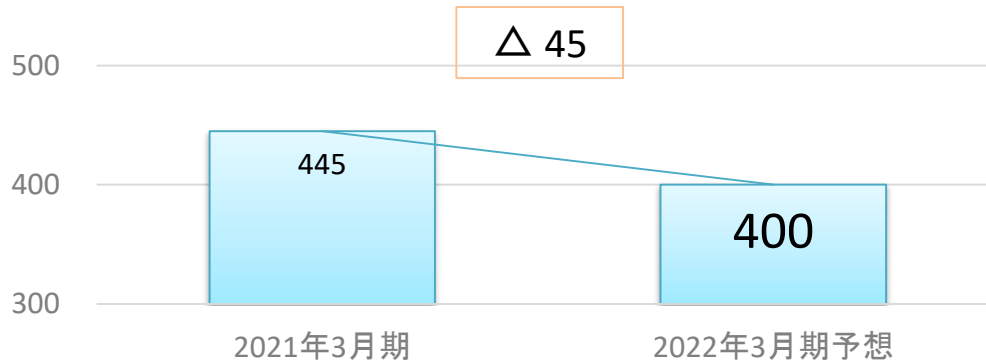


- ☆ 輸出入貨物の増加
- ☆ 海上運賃マーケットの変動
- ☆ 海外子会社が好調に推移

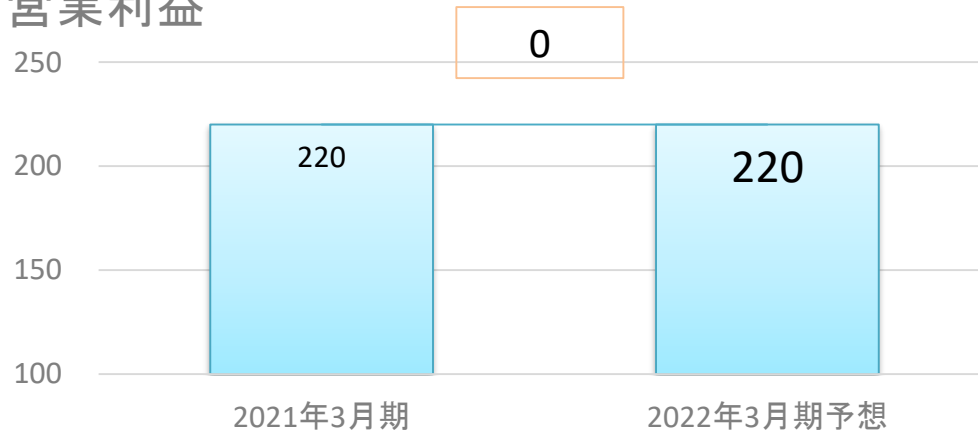


# セグメント別予想(その他事業)

営業収益 (単位:百万円)  
セグメント間相殺前



営業利益

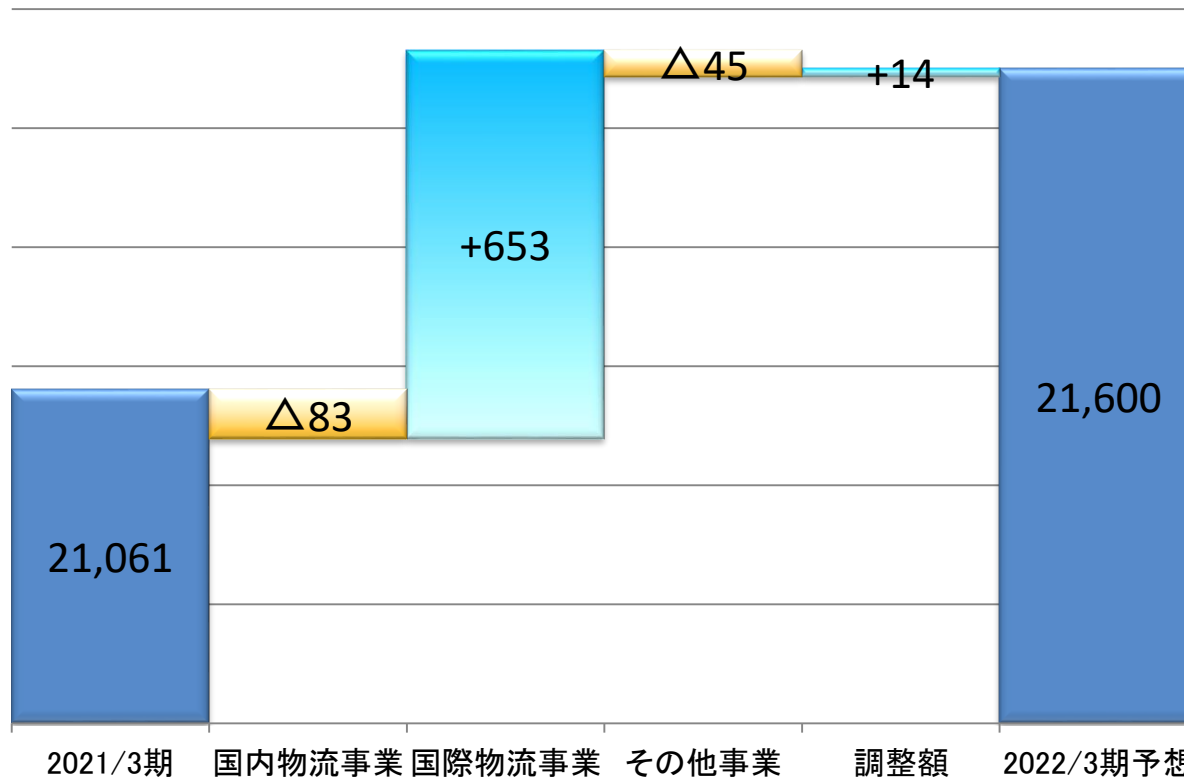


- ☆ 物流資材販売の減少
- ☆ 賃貸収入の増加



# 2022/3期営業収益増減要因

(単位:百万円)



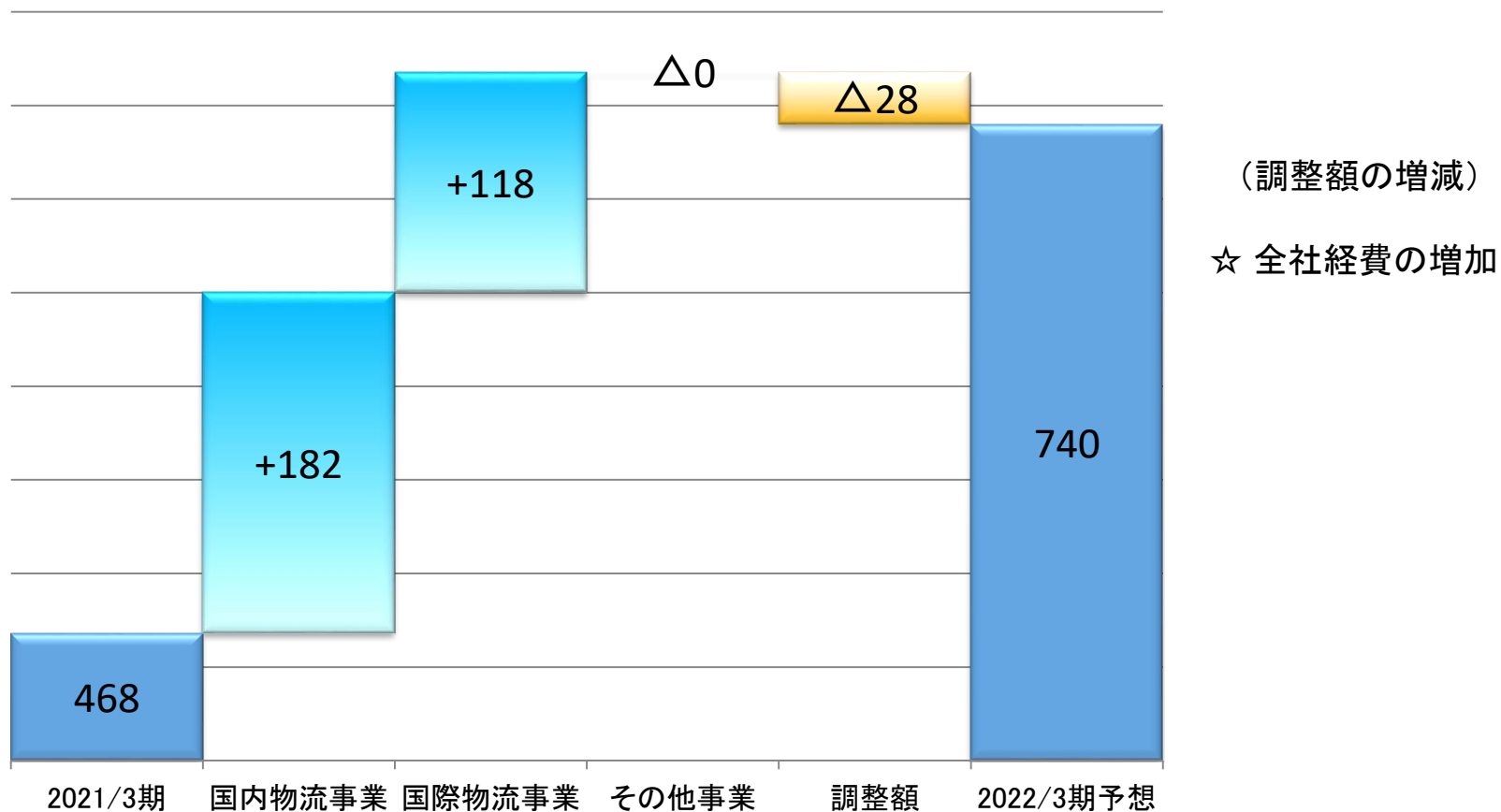
(調整額の増減)

☆ セグメント間取引の減少



# 2022/3期営業利益増減要因

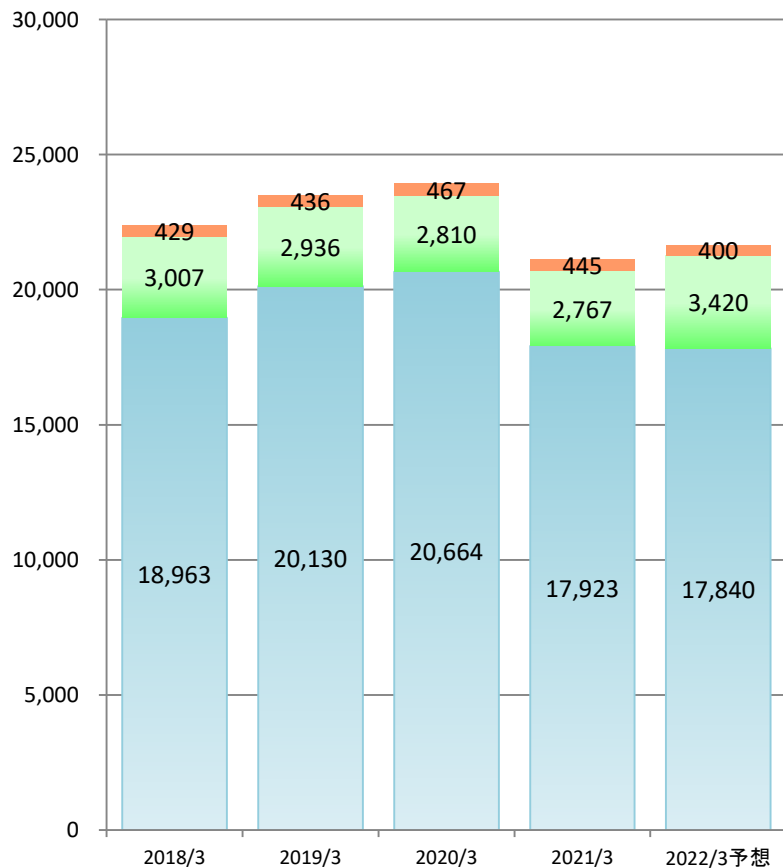
(単位:百万円)



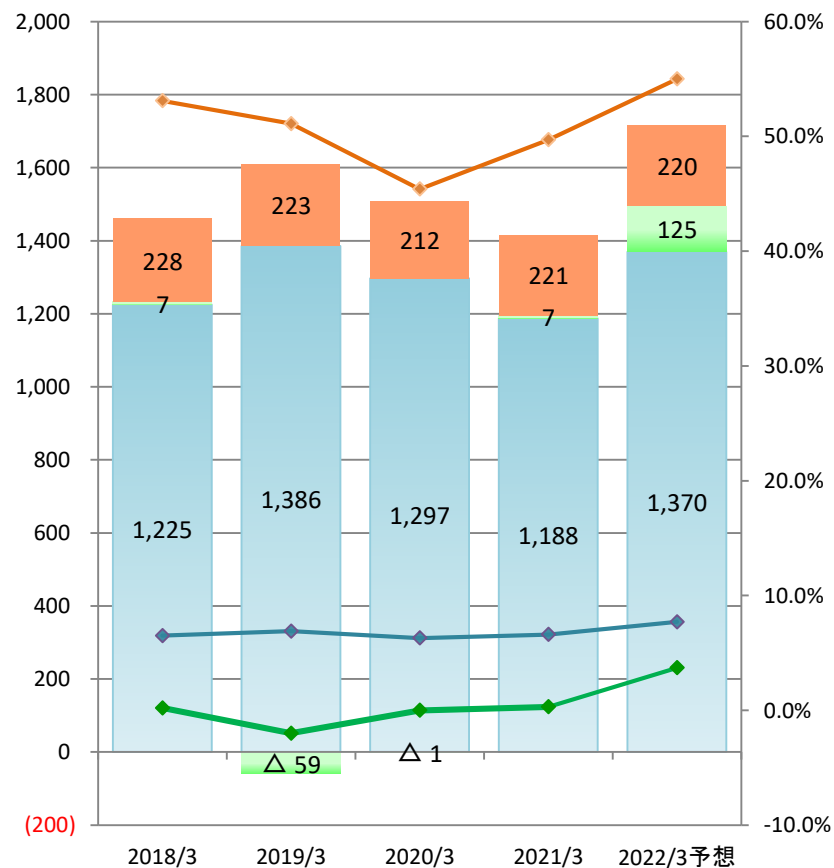


(単位: 百万円、%)  
セグメント間相殺前

## 売上高

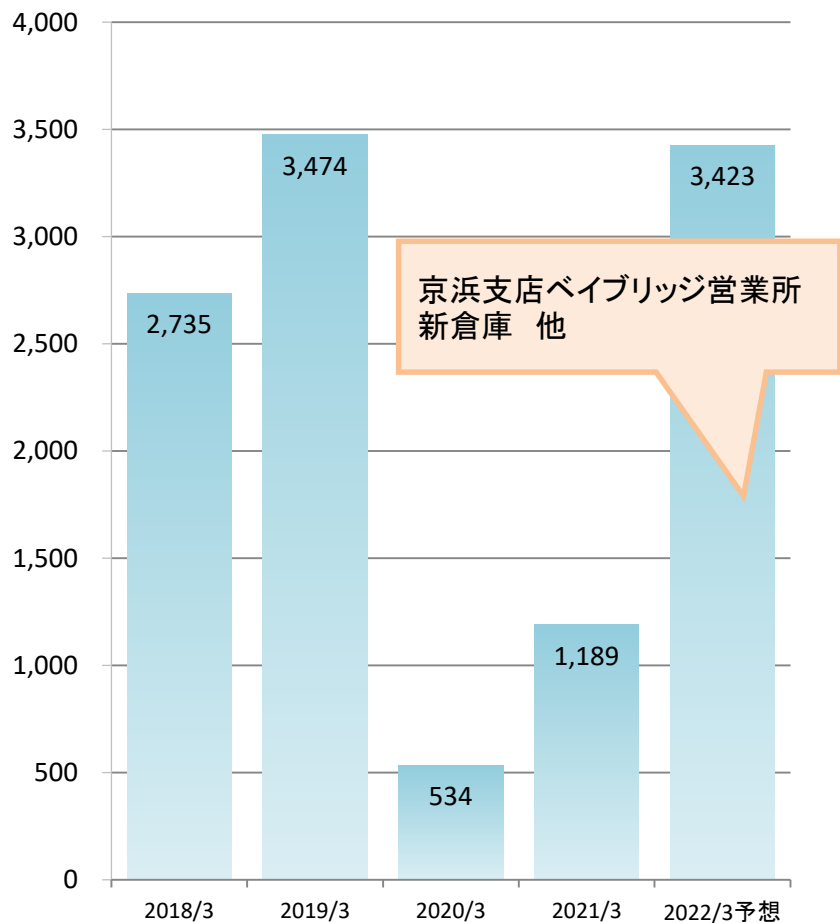


## セグメント利益・利益率



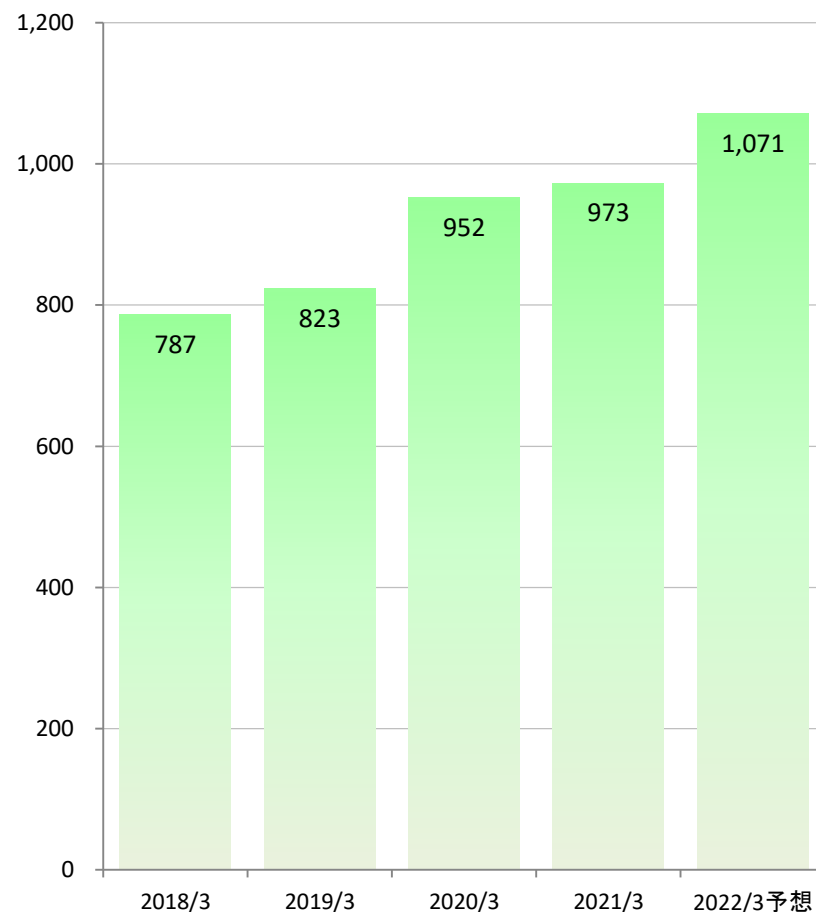
## 設備投資額

(単位:百万円)



## 減価償却費

(単位:百万円)





2021年3月期実績：11億円（完成ベース）

【主な投資内容】

- ・京浜支店大黒営業所上山倉庫新設 3億7千万円
- ・基幹システム更新
- ・デバンダー更新 他

2022年3月期計画：34億円（完成ベース）

【主な投資内容】

- ・京浜支店ベイブリッジ営業所新倉庫建設  
29億円（2021年11月竣工）
- ・危険品倉庫建設
- ・定温機更新 他

## 配当実績推移

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 予定
中間配当	8.00円	6.00円	6.00円	9.00円	8.00円
期末配当	8.00円	6.00円	6.00円	6.00円	6.00円
年間	16.00円	12.00円	12.00円	15.00円	14.00円
配当性向	25.0%	27.8%	37.4%	21.1%	20.6%

## 株主優待

保有株式数	保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	クオカード 1,000円分
100株以上	3年以上	9月末日、3月末日	クオカード 1,500円分

### 対象となる株主様

毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様

(贈呈時期：毎年12月中旬にお送りする「中間報告書」および6月下旬にお送りする「報告書」とともに発送を予定しております。)

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。